

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.252

Q.

なぜ同じお金なのに、使い方や感じ方が変わることがあるのですか？

A.

お金の出所などに応じて、心の中で無意識に異なる勘定科目に分類し、それぞれ別個のものとして価値判断や意思決定を行ってしまう傾向があるためです。

人がお金に関して意思決定する際、無意識に行う行動のひとつに「メンタルアカウンティング（心の会計）」があります。

本来、どんなお金も同じ価値を持つはずですが、「給料」「ボーナス」「臨時収入」「投資の利益」などを別々の心の勘定科目によって色分けし、その勘定科目の範囲の中で損得を判断するため、時に不合理な選択をする傾向があります。例えば、宝くじの当選金のような臨時収入は「パーっと贅沢に使おう」と思ってしまう一方で、給料は「生活費だから節約しよう」と考えるのもその一例です。

しかしながら「心の会計」は、上手に使えば資産形成の大きな味方になります。「老後資金」や「住宅購入資金」、「教育資金」、「旅行費」など、お金を用途ごとに色分けすると、その目的以外の用途でお金を使うことへの心理的な抵抗感から無駄遣いを抑制できる傾向があります。お金は「どこから得たか」ではなく、「どう使うか、何に使うか」で考えることが大切です。

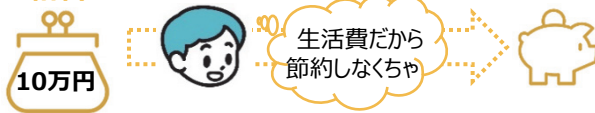
メンタルアカウンティング（心の会計）を上手に資産形成に使うには！？

＜日常のメンタルアカウンティングの例＞

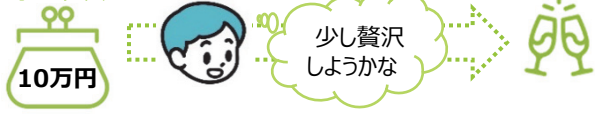
宝くじの当選金



給料



ボーナス



同じ金額（10万円）でも、お金の出所によって扱い方を変えてしまう傾向があります。

＜メンタルアカウンティングを資産形成に活用する例＞

宝くじの当選金



給料



ボーナス



「どこから得たか」ではなく、「何に使うか」を考えてみよう



住宅購入資金
15万円



老後資金
10万円



娯楽
5万円

お金を用途ごとに色分けすると、無駄遣いを抑制できる傾向があります。

（注）上記は一般的な特徴であり、すべてを網羅しているわけではありません。

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください。



【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。